



福岡市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ここつと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）  
福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階  
TEL: 092-832-6427 FAX: 092-832-6428  
Eメール: jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

## ただいま、おかえりと言えるまちへシトラスリボン運動

シトラスリボン運動とは、コロナ禍で生まれた差別、偏見をなくそうと愛媛で始まった運動です。コロナウイルスに感染しても「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる被害も防ぐことができます。

感染の有無にかかわらず、「感染が確認された“その後”」に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見据え、暮らしやすい社会をめざしませんか？」とプロジェクトは呼びかけています。

この趣旨に賛同し、城南区内で展開している地域の取り組みの一部を紹介いたします。

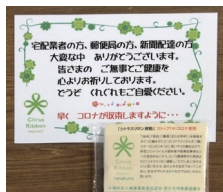


Citrus Ribbon PROJECT

城南区社協事務所はシトラスリボン運動に賛同しています

### 七隈校区での取り組み

七隈校区では男女共同参画協議会（以下、男女共）と人権尊重推進協議会が一緒になって、シトラスリボン運動のティッシュを作成しました。まず6月に小学校・中学校児童生徒全員にティッシュを配布し、その後全世帯にも配布しました。その後知り合いのつながりで、商店や郵便局、企業、関係機関など、様々な団体・場所にティッシュ入りのカゴを置きました。現在18,000個配布しています。また、宅配業者の方や郵便局、新聞配達の方へ感謝の気持ちを込めて「ありがとうプレート」を作りました。賛同してくださっている皆さんが玄関先やポストに貼ってくれています。



ありがとうプレートとティッシュ



窓口での配布

### 城南校区での取り組み

城南校区では、校区社会福祉協議会（以下、社協）と男女共が一緒になってシトラスリボン運動に取り組んでいます。まず、小学校でポケットティッシュと手作りのリボンを配布され、11月には校長先生から児童のみなさんへ人権学習の講話をされました。その後、中学校でもティッシュを配布しました。11月7日（土）の男女共同参画ウィークでは参加者や子ども達と一緒にシトラスリボン作りを行い、登下校のランドセルにはシトラスリボンが揺れています。



おたよりと手作りリボン・ティッシュ



ランドセルに揺れるリボン

### 長尾校区での取り組み

長尾校区男女共では、革紐で手作りしたシトラスリボン1,400個を公民館及び関係団体に配布し呼びかけました。12月に長尾小学校4年生の授業にも取り上げられ、コロナウイルス感染者や医療・福祉従事者への偏見や差別のない長尾校区になるよう、役員が講話。また、児童に作り方も指導し、コロナについて考えながら一緒にリボン作りをしました。



役員による長尾小学校での講話

### 堤地区での取り組み

堤地区社協と男女共ではシトラスリボンの啓発として1万個のポケットティッシュを配布しています。全戸配布を行い、ふれあいサロンやシニアクラブ等団体のほか、校区内の障がい・高齢者施設、小・中学校、高校、郵便局やJAにも配布しています。この運動がまち全体に広がり、「ただいま、おかえり」と言い合える校区」になっていくことへの願いが込められています。



Citrus Ribbon PROJECT



全戸配布したティッシュと地区協会長

## 〈地域での取組みの新しい試みや工夫をシリーズでご紹介します〉

### ■(堤丘)はなれてつながる取組み 青空サロン

堤丘校区の「ふれあいサロンホット」では、10月に運動不足の解消のため、初の試みとして公園にてサロンが開催されました。当日は秋晴れの好天に恵まれ、三密に配慮し、区の健康福祉係に健康体操を教えていただき、皆で元気に楽しみました。外出や運動の機会が減っている方も多く、久々の健康づくりに参加者も生き生きとリフレッシュされていました。



### ■(田島)介護者のつどい @よりあいの森 古民家

田島校区社協では、9月に福祉講演会を実施しました。その際、校区での「介護者のつどい」の開催についてアンケートを行った結果、開催を望む声が多くあることがわかり、12月9日(水)に初めて介護者のつどいを実施しました。古民家の安らぎある雰囲気の中、4名の参加者とスタッフが各々の状況について語り合い、介護をしているという同じ立場同士で話に花を咲かせ、話題は尽きませんでした。校区では、今後も定期的に実施する予定です。



## レクでおもわず笑顔になれる。 「楽しか隊」が活動再開&メンバー募集中!!

城南区シニアサポーター養成講座の受講生で結成されたボランティアグループ「楽しか隊」。講座で学んだレクリエーションを活かし、ふれあいサロンや敬老会などで、参加した人を笑顔にする活動をしています。コロナ禍でサロンや地域行事の中止が相次ぐ中でも、活動再開を目指して三密に配慮したメニューを組み立て、地道に準備してきました。

令和2年12月には、ふれあいサロンから活動依頼を受け、ようやく活動を再開。会場からは「久々に楽しい時間を過ごせました!」と喜びの声があがりました。

「楽しか隊」では活動依頼のほか、メンバー募集も行っています(定例会:毎月第1水曜・15時~)。コロナ禍の自粛による体力低下やコロナ鬱に負けないように、「楽しか隊」と一緒に笑顔で元気になりませんか。

活動依頼、加入希望のご相談は城南区社協事務所(TEL 832-6427)までご連絡ください。



## 「家族介護者カフェ城南」のご報告

城南区社協では、家族介護者が情報交換できる場として、「家族介護者カフェ城南」を12月4日(金)に実施しました。城南第1いきいきセンターふくおかの方に簡単なストレッチ体操を教えていただき、身体が温まったところで参加者のリフレッシュ方法や介護の悩みなどを情報交換。悩みを抱えていた参加者に他の参加者がアドバイスや「がんばれ!」とエールを送るなど心も温まるカフェとなりました。

